

令和6年度 授業づくりシート

教科名		自立活動	5	学年
単元名	「正しい挨拶、神経衰弱をしよう。」			
単元の目標	・イラストを見て正しい挨拶やその返事をするができる。 ・相手のめくったカードを注視し覚えることができる。			
児童の実態	A 児	個人情報のため省略		
児童の個別目標	A 児	・教師に質問された時に、イラストカードを見て正しい挨拶を答えることができる。 ・友達がめくるカードを注視することができる。		

○活動内容と具体的な手立て

活動内容	児童の予想される言動	具体的な手立て
・ 始めの挨拶	・ 全体への言葉かけで着席できるが、教師を見ていない。 ・ 授業では何をするか不安で集中力を欠いている。	・ 目が合わないときは呼名して注視できるようにする。 ・ 見通しがもてるように本時の授業内容を始めに伝える。
・ 挨拶をしよう	・ 友達が答えているとき、その様子を見ていない。 ・ 自分の番でないときも答えることがある。	・ 児童の目を見て、名前を呼んでから発問する。 ・ 順番を守ることを事前に確認する。
・ 神経衰弱	・ 友達のカードを見ていない。 ・ 自分の目の前のカードばかりをめくる。	・ 興味をもてるカードを用意する。 ・ ルールを毎回確認する。 ・ 友達がカードをめくっているときに、何をめくったか発問し、そのカードを注視できるようにする。
・ 終わりの挨拶	・ 全体への言葉かけで着席できるが、教師を見ていない。	・ 授業終了後の見通しがもてるように事前に片付けの段取りを伝える。 ・ 目が合わないときは呼名して注視できるようにする。

○展開

時配	活動内容と教師の支援	該当児童
1 分	○始めの挨拶 ・ 椅子を横一列に並べ座り、挨拶をする。 ・ 本時の内容を伝える。	
8 分	○挨拶をしよう。 ・ 挨拶のイラストを提示して、どの場面か全体で確認する。 ・ 挨拶のイラストを見て、その返事を正しく行う。 朝の挨拶：教師「おはよう」 →児童「おはようございます。」 教師「ありがとう。」→児童「どういたしまして。」 ・ 今何を聞かれているかわかるようにイラストを目の前に示す。	A 児
10 分	○神経衰弱 ・ 児童が好きなもののイラストで神経衰弱を行う。 ・ ルールを始める前に確認する。友達がどこをめくったか見るように強調して伝える。 ・ 数多く順番が回ってくるように、2 枚同じカードを引いても次の人に回すこととする。 ・ 2 回行うが、1 回目は少ないカードで行いルールを理解しているか確認する。	A 児
1 分	○終わりの挨拶 ・ 椅子を横一列に並べ座り、挨拶をする。 ・ 挨拶の後に、片付けの段取りを伝える。	

○児童の授業に取り組む様子

A 児	・「挨拶をしよう」では繰り返し行うことで聞かれたことを答えることができるようになった。友達が答えているときはよそ見をしていることがあったが、言葉をかけると前を向くことができた。 ・「神経衰弱」では、児童が興味をもっている色のカードにしたことで意欲的に学習に参加することができた。また友達がめくったカードを見ることができた。
-----	--

グループ全体の反省・課題 等
・「挨拶をしよう」では色々な挨拶やその返事を学習した。対象児童はコミュニケーションに課題があるので、児童同士で役割を決めて挨拶しあえる場面を設定すればよかった。決まった挨拶は定着してきたので友達同士で「行ってきます。」「行ってらっしゃい。」などの関われる場面を今後の授業で作っていきたい。 ・「神経衰弱」では注視するという目標は達成することができたが、その注視をし続けることには難しさがあった。また、カードの大きさや種類、数などを改善することで注視する時間を延ばすことができるとよい。